Benjamin Britten
WAR REQUIEM

第９回 耕友会コンサート

ベンジャミン・ブリテン

戦争レクイエム

指揮
松下 耕

ソプラノ
腰越満美

テノール
村上敏明

バリトン
カルロ・カン

合唱：The Metropolitan Chorus of Tokyo
拉縴人青年合唱團 Taipei Youth Choir（台湾）
児童合唱：みなみ野キッズシンガーズ
佐倉ジュニア合唱団（指導：戸谷 登貴子）
児童合唱指揮：梶山 絵美
オーケストラ：横浜シンフォニエッタ
オルガン：中田 恵子
ピアノ：前田 勝則

My subject is War, and the pity of War.
The Poetry is in the pity...
All a poet can do today is warn.
Wilfred Owen

2020年 3月 7日（土）

東京芸術劇場　コンサートホール

18:00 開場　19:00 開演

チケット（全席指定、税込・S/A/B 席当日 500 円増）
前売：SS 席 10,000 円　S 席 8,500 円　A 席 6,500 円　B 席 5,500 円

お問い合わせ：耕友会事務局（E-mail：office@koyukai.info / Tel：042-786-6517 / Fax：042-786-6518 / http://kc9.koyukai.info/ ）

主催：耕友会　後援：JCDA 日本合唱指揮者協会、東京都合唱連盟、ICOT 東京国際合唱機構

第 9 回 耕友会コンサート ～松下 耕 指揮者生活 35 周年記念～

ベンジャミン・ブリテン　戦争レクイエム

My subject is War, and the pity of War.
The Poetry is in the pity... All a poet can do today is warn.
Wilfred Owen

Conductor

松下 耕　MATSUSHITA Ko

1962 年東京生まれ。作曲家、合唱指揮者。国立音楽大学作曲学科首席卒業。卒業後、ハンガリーに渡り、合唱指揮法及び作曲法を学ぶ。レメーニ・ヤーノシュ、モハイ・ミクローシュ他に師事。

作曲家として生み出している作品は、合唱曲を中心として多岐にわたり、それらの作品は世界各国で広く演奏されており、同じく楽譜も、国内外で出版が相次いでいる。これまでに、国内およびポーランド、中国、台湾において個展が開催された。深圳では深圳交響楽団によりオーケストラ作品の初演も行われた。第 85 回 (2018 年度)NHK 全国学校音楽コンクール小学校の部課題曲「出発」を作曲。

指揮者としても活躍しており、東京合唱アライアンス〈耕友会〉芸術総監督として 12 団体の指揮を務めている。各合唱団は精力的な活動を繰り広げ、ヨーロッパの数々の国際合唱コンクールにおいて、グランプリ等優秀な成績をあげている。また、関西耕友会、台湾耕友会の音楽監督も務めている。2005 年、合唱音楽における国際的かつ優れた活動が認められ、「ロバート・エドラー合唱音楽賞」をアジア人で初めて受賞した。2017 年、スペイン・バルセロナで開催された世界合唱シンポジウムの芸術委員を務め、また、2018 年、台湾・台北メールクワイアの音楽監督に就任した。

現在、一般社団法人東京国際合唱機構代表理事。耕友会芸術総監督。軽井沢国際合唱フェスティバル総合音楽監督。東京国際合唱コンクール総合プロデューサーおよび芸術監督。Interkultur World Choir Council 日本代表評議員。東京都合唱連盟副理事長。全日本合唱連盟東京副支部長およびこどもコーラス委員。日本作編曲家協会会員。日本合唱指揮者協会会員。合唱表現研究会代表。国際コダーイ協会会員。

Orchestra

一般社団法人 横浜シンフォニエッタ　YOKOHAMA SINFONIETTA

1998 年 TOMATO フィルハーモニー管弦楽団として東京藝術大学学内にて創立。後に横浜シンフォニエッタへと改称、音楽監督に山田和樹を擁し、横浜に活動拠点を置くオーケストラとして国内外で演奏活動を展開している。
2013 年フランス・ナントのラ・フォル・ジュルネ音楽祭へ日本の楽団として初めて招聘され、2015 年韓国 (統営・国際音楽祭)、2017 年ロシア (モスクワ・ロストロポーヴィチ国際音楽祭) と海外の著名な音楽祭にて公演を重ねる。CD リリースも多数、題名のない音楽会等に出演し、世界の最先端を行くイノベーション・オーケストラとして注目を集める。
2013 年にはその功績を高く評価され横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。2014 年 2 月のサントリーホール公演にて皇后陛下に御臨席を賜る。
オフィシャルサイト www.yokohama-sinfonietta.com

Soprano

腰越 満美　KOSHIGOE Mami

東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース、二期会オペラスタジオ、文化庁オペラ研修所修了。文化庁芸術家在外派遣研修員としてイタリアに留学。第 3 回日本声楽コンクール入選。95 年フェッルッチョ・タリアヴィーニ国際コンクール第 1 位受賞。オペラでは 97 年新国立劇場オープニング記念オペラ『建・TAKERU』夏乃役、99 年『天守物語』萩役をはじめ、02 年二期会・新国立劇場共催公演『忠臣蔵』綾衣役、二期会『蝶々夫人』(栗山昌良演出) タイトル・ロール、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、『フィガロの結婚』伯爵夫人、新国立劇場『鹿鳴館』影山伯爵夫人朝子役、『夕鶴』つう役、『夜叉ケ池』(創作委嘱作品・世界初演) 白雪役、日生劇場『ルサルカ』外国の公女などに出演し常に高い評価を得ている。海外では『愛の妙薬』アディーナ、『アンドレア・シェニエ』マッダレーナなどイタリア、オーストリアの各地で活躍するほか、コスタリカ国立交響楽団オペラ公演『蝶々夫人』タイトル・ロールで招聘され熱狂的な成功を収め地元各紙から絶賛された。近年はベトナム国立交響楽団に招聘され橋本国彦作品を披露するなど益々活動の幅を広げている。ＮＨＫ「日本うた絵巻」、ＮＨＫ「ニューイヤーオペラコンサート」、テレビ朝日「題名のない音楽会」などテレビやラジオにも数多く出演し多彩な才能を発揮してファンを魅了している。桐朋学園大学准教授、尚美学園大学非常勤講師。二期会会員

Tenor

村上 敏明　MURAKAMI Toshiaki

国立音楽大学声楽学科卒業。文化庁在外研修員として、2001 年よりイタリア・ボローニャへ 2 年間留学。その後、2007 年までイタリアに在住。イタリアオペラを中心に 50 役を超える幅広いレパートリーを有し、国際的に活躍を続けている。2002 年に、オルヴィエートのマンチネッリ劇場にて「リゴレット」マントヴァ公爵でヨーロッパデビュー。藤原歌劇団では、「椿姫」アルフレード・「ラ・ボエーム」ロドルフォ、「ルチア」エドガルド・「仮面舞踏会」リッカルド等、新国立劇場では、「椿姫」アルフレード・「蝶々夫人」ピンカートン・「愛の妙薬」ネモリーノ・「黒船」領事ハリス・「修禅寺物語」頼家等に主演し、常に最大級の賛辞を受けている。第 9 回マダムバタフライ世界コンクール優勝のほか、15 の国際声楽コンクールで優勝または上位入賞。2012 年から、9 年連続で NHK ニューイヤーオペラコンサートに出演。今後も、2020 年 2 月・藤原歌劇団「リゴレット」マントヴァ公爵、4 月・新国立劇場「ホフマン物語」ナタナエル (ホフマン役カヴァー) 等、大舞台での出演が多数予定されている他、年間 100 公演を超えるステージで活躍している。平成 16 年度五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。藤原歌劇団団員。人気実力ともに、日本を代表するテノール歌手として、活躍の幅を広げている。

Baritone

カルロ・カン　Carlo KANG

韓国ソウル出身。キュンヒ大学卒業。イタリア・ミラノ国立ヴェルディ音楽院修了。1999 年ヴェルディ - 優勝、2000 年 RAI 主催マリア・カラス - 優勝、ビルバオ - 優勝、2001 年 OPERARIA プラシド・ドミンゴ - 第 2 位、2002 年ジャコモ・アラガル - 優勝、ドレスデン - 第 3 位等、数多くの国際声楽コンクールで優勝・入賞を果たす。パルマ王立劇場で「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵を歌いオペラデビュー。その後も、カターニャ、ジェノヴァ、トリエステ、アレーナ・ディ・ヴェローナ等のイタリアの大劇場や、ブエノスアイレス・テアトロ・コロン、カイロ、リンツ、フランクフルト等世界中の歌劇場で、常に主役として活躍している。とりわけ「リゴレット」「椿姫」「ドン・カルロ」「運命の力」「オテロ」等の諸役でのヴェルディ歌手としての実績は、世界的な評価を受けている。2011 年、キュンヒ大学声楽科教授に就任。2008 年富山での、チョン・ミュン・フン指揮「ラ・ボエーム」マルチェッロ役で初来日。その後、2016 年・藤原歌劇団「ルチア」エンリーコ、2018 年・同「ドン・ジョヴァンニ」タイトルロール等、日本での出演も増えている。比類なきキャリアと圧倒的な歌唱で、韓国ナンバーワン・バリトンとして活躍している。

Chorus

The Metropolitan Chorus of Tokyo

作曲家・合唱指揮者の松下耕が音楽監督・常任指揮者をつとめる合唱団で構成される『耕友会』のメンバーによる混声合同合唱団。合唱祭やイベントへの参加、学校や福祉施設への訪問演奏、CD 録音、海外における公演や交流活動など、合唱文化の継承と保存、発展に貢献している。

2008 年、長崎の原爆をモチーフとした「ああ、長崎　灰から光へ」(ロバート・キアー作曲) の世界初演に被爆国の合唱団として招かれ、アメリカ・ミネソタ州セントポール市での演奏が好評を博す。2011 年、中国・シンセン市にてシンセン交響楽団との共演。2015 年にはアメリカ、ユタ州ソルトレイクシティで行われたアメリカ合唱指揮者協会 ACDA 主催の国際合唱カンファレンス、2016 年韓国の釜山国際合唱祭・コンクール、2017 年第 50 回記念和歌山県合唱祭でそれぞれ招待演奏。2018 年第 24 回フロンテアニューイヤーコンサートにて新日本フィルハーモニー交響楽団と共演。2019 年アルティ声楽アンサンブルフェスティバル 2019 での招待演奏。

また、2015 年より新たな合唱音楽のレパートリーの発信と合唱音楽の更なる普及を目的とし始まった日本国際合唱作曲コンクールでは授賞式での世界初演を行うなど、その活動の質の高さには定評がある。

チケット（全席指定、税込・S/A/B 席当日 500 円増）
前売：SS 席 10,000 円　S 席 8,500 円　A 席 6,500 円　B 席 5,500 円

▶Web 予約：**http://confetti-web.com/**
▶電話注文：**0120-240-540**（カンフェティチケットセンター / 平日 10:00-18:00）
※ご予約後、予約有効期間内にセブン - イレブン店頭レジにてチケットをお受け取りください。

▶詳細は Web サイト（http://kc9.koyukai.info/）をご覧ください